能登原子力センター

あともす

2024/No. 264　1月号

contents

- 今月の話題
  原子力防災訓練を実施 …… 1
- 原子力なあるほど教室
  原子力発電所の安全対策 …… 3
- 特別寄稿
  志賀町の文化財(二) …… 4
- こんなことをしました …… 5
- わが町トピックス …… 7
- モニタリング …… 9



昨年１月７日(土)に開催したものです

2024 謹賀新年



「防火への決意新たに ～羽咋市消防出初式～」

羽咋市では、毎年１月上旬に、消防団員、消防署員らによる消防出初式が行われます。

これまで功績のある消防団員が表彰を受けるほか、消防団員らによる分列行進と一斉放水で1年の無火災を祈願します。今年は１月６日(土)に実施します。(羽咋市)

あともすとは、物質をこれ以上分けることができないという意味のギリシャ語。英語のアトム(原子)の語源

原子力防災訓練を実施



県現地災害対策本部において、県、市町が住民の避難等を協議
（志賀オフサイトセンター）



国、県、関係市町等が参集し、合同対策協議会を開催
（志賀オフサイトセンター）

令和5年11月23日(木・祝)、石川県は国、富山県、関係市町※及び関係機関等と連携し、原子力防災訓練を実施しました。

この訓練には、関係機関約240機関と住民合せて約1700名が参加し、原子力災害時の緊急時対応に万全を期すため、オフサイトセンターの運営や住民避難訓練などを実施し、原子力災害への対応体制を確認しました。

オフサイトセンターでは、合同対策協議会を設置し、関係機関等からの情報集約と避難地域や避難方法の決定・指示等の訓練を行いました。

住民避難訓練では、放射性物質が放出される前から避難する区域となっている、原発から概ね5㎞圏内の志賀町の住民が避難を行いました。

その後、放射性物質が放出し南南東方向に拡散したとの想定で、事故の状況や空間放射線量の測定結果などから早めに避難する区域となっている、原発から5～30㎞圏内の羽咋市、宝達志水町、かほく市の住民が行政の指示により避難を行いました。

また、志賀町では、地震により道路が寸断されたとして、倒木の除去など道路啓開を行うとともに、自衛隊のヘリコプターを使って住民が避難を行ったほか、今回の訓練では、初めて夜間において避難退域時検査を実施し、視認性や必要な資機材の確認を行いました。

※関係市町…志賀町、七尾市、羽咋市、中能登町、輪島市、穴水町、宝達志水町、かほく市、氷見市



夜間の避難退域時検査（車両検査）
（石川県立看護大）



重機による道路啓開
（巌門クリフパーク）

各自治体の取り組み

志賀町では、緊急速報メールや防災行政無線放送等による住民への情報伝達訓練や、バスによる能登町及び白山市への広域避難のほか、総合武道館、旧福浦小学校の放射線防護施設の稼働訓練及び要配慮者等の避難訓練を実施しました。町災害対策本部を立ち上げ、原子力災害時の対応体制についても確認しました。

また、地震による複合災害を想定し、道路寸断に対処する自衛隊ヘリコプターや高機動車による避難訓練、道路啓開訓練を実施しました。





①バスによる避難訓練②自衛隊高機動車による避難訓練③道路啓開訓練（志賀町）

七尾市では、防災メールやホームページなどの多様な媒体を使って行う広報訓練のほか、災害対策本部設置運営訓練、緊急時通信訓練、緊急時放射線モニタリング訓練を実施しました。



災害対策本部設置運営訓練（七尾市）

羽咋市では、原子力災害時を想定し、災害対策本部の設置、緊急時における通信連絡体制を確認するとともに、防災行政無線や安全・安心メールによる住民への情報伝達訓練を実施しました。また、バスによる金沢市への広域避難のほか、邑知中学校で住民の受け入れ訓練を行い、放射線防護施設の稼働や安定ヨウ素剤配布訓練など、原子力災害時の避難行動を確認しました。



災害対策本部設置（羽咋市）

中能登町では、町災害対策本部を設置し、原子力災害時の対応体制を確認するとともに、職員安否確認訓練（専用メール）を実施しました。

また、情報共有訓練も実施しました。



災害対策本部設置（中能登町）

北陸電力㈱の取り組み

北陸電力㈱志賀原子力発電所では、発電所本部の運営訓練を行い、発電所の状況把握や関係機関への通報連絡などの実効性を確認しました。

発電所構内では、可搬型設備の実働訓練として、送水用消防車による使用済燃料貯蔵プールへの注水訓練を行い、緊急時における対応能力の向上を図りました。

発電所以外でも、オフサイトセンターへの要員派遣訓練や、原子力施設事態即応センター（原子力本部）の運営訓練、アリス館志賀の来館者の避難訓練などを実施しました。






①発電所本部（増設緊急時対策所）の運営訓練
②送水用消防車による使用済燃料貯蔵プールへの注水訓練
③オフサイトセンターへの要員派遣訓練
④アリス館志賀の来館者の避難訓練

原子力なぁるほど教室

原子力発電所の安全対策
【建屋内の火災に備える】編

福島第一原子力発電所の事故以降、各原子力施設では、安全性を高めるためにさまざまな対策がとられています。
今回の原子力なあるほど教室では、志賀原子力発電所の安全対策のうち、「建屋内の火災防護対策」について紹介します。



建屋内の火災に備える

建屋内での火災に備えるため、従来から行っていた対策に加え、次の対策が強化されています。

①火災の発生を防止する対策

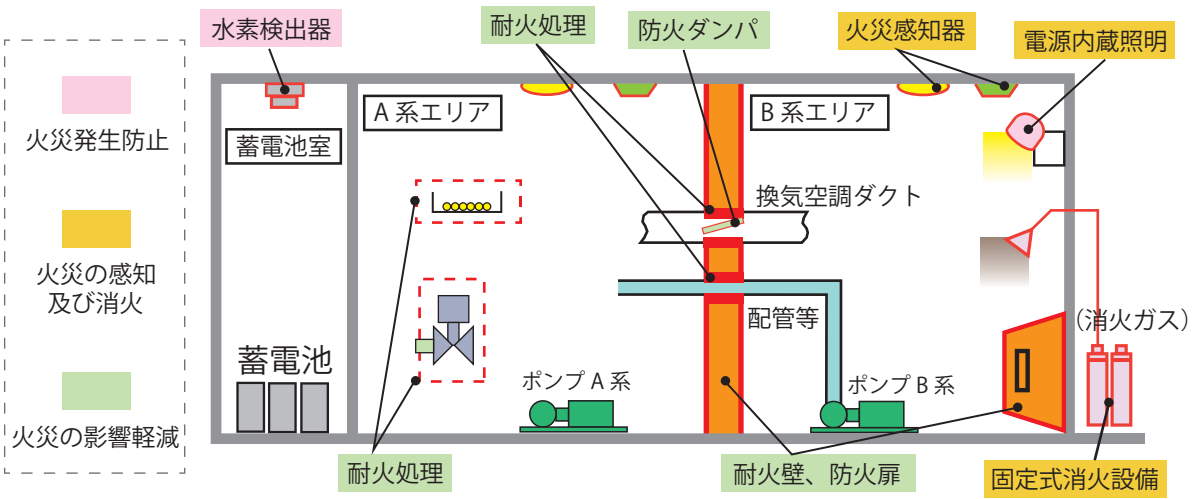
配管等を覆っている保温材を、従来の燃えにくい難燃性から、燃えない不燃性の素材に取り替えたほか、蓄電池室には、蓄電池から引火しやすい水素が漏れた場合に、それを検出する水素検出器が設置されています。

②火災が発生した際、感知及び消火するための対策

火災をより早く正確に感知するため、異なる種類の火災感知器が追加で設置されています。
また、消火活動がスムーズに行われるよう、固定式消火設備や電源内蔵照明が設置されています。

③火災の影響を軽減する対策

耐火壁や防火ダンパの設置のほか、配管貫通部やケーブルなどの耐火処理が行われ、もし火災が起きても、その影響が軽減できるしくみを備えています。



出典：北陸電力㈱資料「建屋内の火災に備える」より作成

見学の感想



消火器やスプリンクラーの設置など、志賀原子力発電所では、従来からもしっかりとした火災防護対策がとられていたと思いますが、今回ご紹介したように、さらにいくつもの対策が講じられていることが分かり、改めて原子力発電所の安全対策の綿密さに驚きました。

志賀町の文化財（二）

能登福浦湊の難船絵馬

能登福浦湊の神社では、殿内を荘厳する多彩な絵馬が掲げられています。十八～十九世紀にかけて日本海海運の主力を担った、いわゆる「北前船」の寄港地として賑わった当地では、とりわけ「板子一枚下は、地獄」といわれた命がけの稼業であった船乗りたちが航海の安全を願い、あるいは無事の帰還に感謝して奉納した船絵馬が多くを占めています。

産土社の猿田彦神社に23面、海上を見晴るかす高台の日和山に鎮座する金刀比羅神社に26面が伝存し、往時の繁栄ぶりがしのばれます。その奉納者は、ご当地出身の船主や船頭あるいは船宿の主人、さらにはその船宿を定宿にした他国の船乗りたちでした。

その船絵馬は、諸国の廻船が集まる大坂の絵馬屋で製作され、吉本善京・杉本勢舟・絵馬屋藤兵衛（通称絵馬藤）といった有名な船絵師が健筆を揮った優品も少なくありません。その構図は、平穏無事に航海できるようにとの願いから、おのずと穏やかな海上を順風満帆に快走する姿を描くのが一般的です。

そうしたなか、吹き荒れる暴風と大波にもまれ、いまにも沈没しそうな海難の場面を描いた「難船絵馬」と呼ばれる特異な作品があります。それは、運悪く海難に遭遇したとき、神仏への祈願によって九死に一生を得て帰還できた御礼として奉納された絵馬です。

筆者の調査によれば、石川県内には632面の船絵馬が確認でき、そのうち難船絵馬が加賀で2例、能登で9例が知られます。驚くのは、その難船絵馬の実に7例が旧富来町域に偏在し、福浦だけでも猿田彦神社に2面、金刀比羅神社に3面と際立って多いことです。しかも、福浦では難船の情景をリアルに伝える海事史料として価値の高い作例を見ることができます。



図１　荒波に難航する弁財船の絵馬

なかでも金刀比羅神社に伝わる明治20年（1887）奉納の難船之図額（図1）は、絵馬藤の船絵師としての優れた力量を窺う迫力満点の逸品です。その画面には、暴風と高波に翻弄される二艘の弁財船が描かれ、ともに追風・追波の危険を避けるために帆を下げる「つかせ走り」で流し、船足を落とすために「たらし」とよばれる碇綱を曳いています。とくに左の船に注目すると、丈夫な船首を波に向ける「逆艫」という対策をとり、何本もの碇綱がぴんと張って碇を曳かせて凌いでいる様子が読みとれます。

また、それらの船上には金毘羅大権現の大木札が結ばれ、乗組員たちが空中に立ち現れた金毘羅神の加護を象徴する金色の御幣に手を合わせて拝んでいる姿が劇的に表現されています。

いまひとつ、同社には慶応4年（1868）に奉納された注目すべき個性的な難船絵馬があります。帆柱を伐った難船が救助曳航される情景を描いた天神丸・利天丸図額（図2）です。遭難の憂き目に遭ったのは越中伏木湊桶屋の天神丸で、帆柱を伐って漂流しているところを加賀本吉湊（現在の白山市美川）上野屋の利天丸に助けられたのでしょう。ここでも、空中に御幣が描かれ、金毘羅神の確かな加護が窺えます。

弁財船が大時化に遭遇すると、先に触れたように、帆を下げる「つかせ」と、碇綱を曳く「たらし」で船足を落として凌ぎます。それでも沈没の恐れがあるときは、「はね荷」といって積荷を海中に投げ捨てて安定を図りました。さらに流されたときは、天神丸のように帆柱を伐り倒しました。



図２　帆柱を伐り倒した難船の曳航

こうして人事を尽くしたあとは、乗組員たちは髷を切って船内の神棚や仏壇に供え、ひたすら助けを祈りました。運よく帰還できたときは、その髷を避難できた湊やゆかりの社寺に奉納して神恩に感謝しました。青森県深浦の円覚寺金毘羅堂には、命からがら助かった福浦湊銭屋の乗組員が奉納した髷額が今に伝えられています。

（志賀町文化財審議委員　戸澗幹夫）

参考文献

石井謙治『ものと人間の文化史　和船Ⅰ』法政大学出版局　1995年

能登原子力センターで

こんなことをしました

エネルギー教育フェア

10月22日(日)





五十嵐美樹先生によるサイエンスショー



科学工作



あともす検定



ほくりくアイドル部による
ステージショー



ストナビダンススクール







縁日



キッチンカーコーナー



エアー遊具



自家発電漕ぐウェイ

原燃サイクル施設見学会（青森県）

10月25日（水）～ 27日（金）





志賀原バーチャル見学会



10/17㈫　中浜そくさい会（志賀町）



10/18㈬　はまなすそくさい会（志賀町）



10/20㈮　プルート健康教室（穴水町）



10/24㈫　二所宮そくさい会（志賀町）

親子エネルギーバス



12/2㈯　小浜子ども会（志賀町）



10/28㈯　なかよしサロン（穴水町）



10/29㈰　東旭地区そくさい会（志賀町）

羽咋市

3月ごろまでが見ごろ
白鳥の里・邑知潟（おうちがた）

羽咋市の邑知潟周辺は、毎年、ハクチョウやカモ、サギなどが飛来することで知られています。10月中旬になるとハクチョウをはじめとする冬鳥が飛来し始め、3月ごろまでが見ごろです。

ハクチョウの姿を見ようと、県内外から多くの見学者が訪れています。

また、早朝には、夜間、邑知潟水面で羽を休めていたハクチョウが、エサ場に向けて水面から飛び立つ様子も間近に見ることができます。

邑知潟で、家族で仲良く泳ぐ白鳥たちの姿を見ていると、日ごろの疲れを癒してくれるかのように感じます。





観察の際の注意点

①ハクチョウに近づきすぎない
ハクチョウがエサを捕っている集団には近づきすぎないようにしましょう。

②お静かに願います
ハクチョウを驚かせないよう、静かに観察をお願いします。また、犬や猫などは厳禁です。

ハクチョウは非常に敏感で、エサ場にふさわしくないと判断すると、そのエサ場を放棄し、二度と来なくなってしまいます。皆さまのご協力をお願いします。

お問い合わせ　羽咋市商工観光課
TEL　0767-22-1118

志賀町

機具岩・旧福浦灯台 冬のライトアップ

夕日を眺めたあとは、暗闇に浮かびあがる幻想的な風景をお楽しみください。

期間　～2月29日(木)　午後5時～10時

●機具岩（はたごいわ）



能登金剛の代表的な奇岩の一つである機具岩のライトアップ。機具岩は、伊勢の二見岩によく似ていることから能登二見とも呼ばれ、美しい夕日のスポットとしても知られています。

●旧福浦灯台（きゅうふくらとうだい）



日和山と呼ばれる断崖の上にある、現存するものの中では日本で最も古いとされる木造灯台のライトアップ。付近の坂道には石畳が敷かれ、昔ながらの漁港風情が残り、見渡す海は絶景です。

お問い合わせ　志賀町商工観光課
TEL　0767-32-1111

令和6年 消防出初式

1月6日（土）志賀町防災公園にて、新春恒例の出初式を開催します。

町消防団16分団と志賀消防署員が集結し、米町川（神代地内）で消防車両による一斉放水を行います。

令和3年から活動し始めた女性団員は、運営補助として参加しています。団員募集中です。地域の消防、安全に興味のある方、消防についてもっと知りたい方は、志賀町環境安全課にお問い合わせください。

開催日時　1月6日(土)
午前9時30分から

開催場所　志賀町防災公園
(志賀消防署横)

お問い合わせ　志賀町環境安全課
TEL　0767-32-1111



七尾市

石川県能登島ガラス美術館
「光をまとう」

会　期　3月24日(日)まで
　※休館日　毎月第3火曜日
開館時間　午前9時～午後4時30分まで
　※入館は閉館時間の30分前まで
観覧料　一般800円、大学生350円
　※高校生以下　無料

光を透過・反射するガラスで作られる造形は、光を受けると形や質感が強調され、内部に溜まる光は、その表情を一変させます。本展では、光との関係性を見つめ、造形に取り組む作家たちの作品を紹介します。



Wait The Light ／扇田克也
2023年／作家蔵

●奥野美果とつくる光のオーナメント
日　時　1月14日(日)
　①午前10時30分～　②午後2時～
参加費　1，500円(要別途送料)
定　員　各回9名(要事前申込み)

●扇田克也によるギャラリートーク
日　時　1月28日(日)予定　午後2時～
参加費　無料(大学生以上は要当日観覧券)

※詳細は当館HPをご覧ください。

お問い合わせ　石川県能登島ガラス美術館
TEL　0767-84-1175
HP　https://nanao-af.jp/glass/

石川県七尾美術館
テーマ1「自然とともに」
テーマ2「彫刻って面白い！」

所蔵・寄託作品を中心に紹介する展覧会です。テーマ1では水や植物など自然を感じる絵画や焼きものなど23点を紹介。テーマ2では、石川県ゆかりの作家を中心に、様々な素材による抽象・具象の彫刻作品34点を展覧します。



「星への帰還－ARPA－」
吉田　隆　当館蔵

会　期　2月12日(月・休)まで
　※休館日　毎週月曜日
　（1／8、2／12は開館）
　12／29～1／3、1／9
開館時間　午前9時～午後5時
　※入館は閉館時間の30分前まで
観覧料　一般350円　大学生　280円
　高校生以下　無料
　※国民の祝日は70歳以上の方
　観覧料無料

お問い合わせ　石川県七尾美術館
TEL　0767-53-1500
HP　https://nanao-art-museum.jp

中能登町

どぶろくのシーズン到来！
発酵食のイベントを開催します

中能登町は古くから、どぶろくに縁の深い地域です。平成26年11月28日付けで、内閣総理大臣から「どぶろく特区」の認定により、町内全域で、農家民宿や農家レストランなどを営む農業者による「どぶろく」製造が可能となり、現在2名の生産者が農家レストランを営みながら、どぶろくを製造しております。

一人は、「太郎右衛門」を営む田中良夫さん（二宮）のお店で、囲炉裏を囲んで田舎料理を楽しみながら味わえます。

もう一人は、「まる」を営む織田好子さん（春木）のお店は、辛口・甘口用も醸造しており、自家栽培の野菜やジビエを使った料理とどぶろく「さえさ」が味わえます。

2月にはどぶろくをはじめとした発酵食のイベントが開催されますので、これを機会に、中能登町にお越しいただき、こだわりのどぶろくをぜひお楽しみください。



どぶろく&発酵マルシェ
開催日　2月10日(土)（時間未定）
場　所　道の駅　織姫の里なかのと
主　催　中能登町観光協会
お問い合わせ　中能登町観光協会
　（道の駅織姫の里なかのと内）
TEL　0767-76-8000

のとルネ100人女子会 in NAKANOTO

「のとルネ100人女子会」が初めて中能登町で開催されます。

地元の特産品や、地元企業の商品の魅力について考察し、より県内外にアピールできる競争力のある商品を再発見・開発・改良するために、参加者の皆さんにアイデアを出していただきます。また当日は抽選会も予定しておりますので、ぜひ、ご参加ください。

女子会ですが、応援したいというお気持ちでご参加くださる男性も歓迎です。

日　時　1月20日(土)
　午後1時30分～午後4時30分
場　所　ラピア鹿島　ミューズホール
主　催　のとルネ実行委員会
　TEL　0767-58-3007
共　催　中能登町



100人女子会
申込みはコチラ

志賀原子力発電所周辺の
環境放射線監視結果及び温排水影響調査結果

石川県、志賀町及び北陸電力㈱は、発電所周辺の環境放射線監視及び温排水影響調査を実施しています。
今回は令和４年４月～令和５年３月の１年間の結果をまとめた「令和４年度 年報」の概要をお知らせします。
環境放射線監視結果では、志賀原子力発電所に起因する環境への影響は認められませんでした。
温排水調査結果でも全体として大きな変化は認められませんでした。

Ⅰ 環境放射線監視（令和４年４月～令和５年３月）

1. 空間放射線

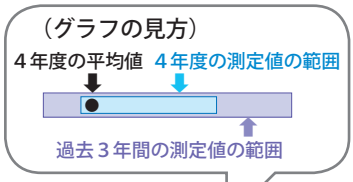
石川県は志賀原子力発電所から30kmの範囲に24局の環境放射線観測局を、また北陸電力㈱は発電所の周囲に７局のモニタリングポストを設置し、常時、空間放射線量を測定しています。

各地点の測定結果は、降雨等の影響により過去３年間の測定値の範囲を超えた局もありましたが、発電所に起因する影響は認められませんでした。



環境放射線観測局
（風無局：志賀町（地図下線））

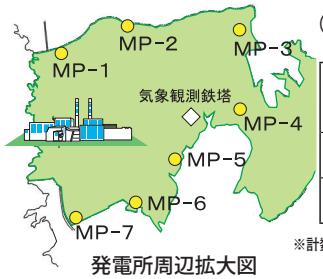
空間放射線のほか、風向、風速、降雨量などを測定しています。



■ 環境放射線観測局（石川県設置）



■ 発電所モニタリングポスト（北陸電力㈱設置）



発電所周辺拡大図

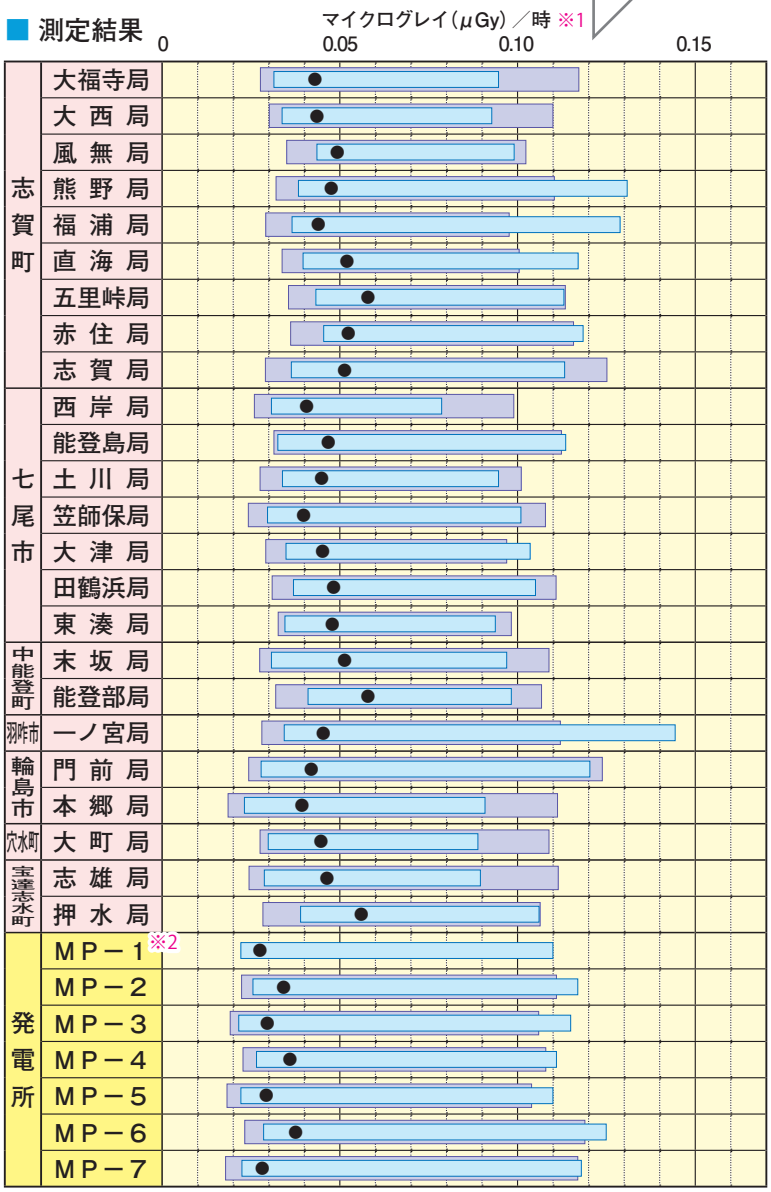
（参考）排気筒・排水ピットの計数率
（令和４年４月～令和５年３月）（単位：cps）

	1号機		2号機	
	排気筒モニタ	排水ピットモニタ	排気筒モニタ	排水ピットモニタ
今回の測定値	4	10～12	4～5	11～13
過去の測定値	4～5	10～13	4～6	11～14

※計数率(cps)は、１秒間に計測された放射線の数を表しています。

放射線の測定値は、宇宙や地面などからの自然放射線によるもので、測定地点近傍の地質や測定器の位置等の違いもありますが、通常、0.020 ～ 0.100マイクロ グレイ（μGy）/時 程度です。
日常よく見られる変動としては、降雨により一時的に0.100 ～ 0.200マイクロ グレイ（μGy）/時 程度になることがあります。

■ 測定結果



※1　空間放射線の測定値の単位には、グレイ(Gy)/時が用いられます。また、小さな値を示すため、通常、100万分の１を示すマイクロ（μ）を付けて表します。１マイクログレイ(μGy)は、100万分の１グレイ(Gy)（0.000001グレイ(Gy)）を示します。

※2　MP-1は平成30年８月31日に故障し、令和元年６月12日に復旧しましたが、復旧に伴い設置地点の周辺環境が変化したため、過去の測定値の範囲を記載していません。

■ 簡易局

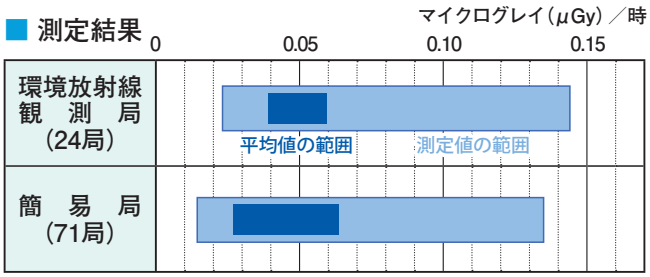
石川県では、環境放射線観測局のほかに志賀原子力発電所から30kmの範囲に71局の簡易局※を平成27年度から28年度に設置しました。令和４年度の測定結果は、環境放射線観測局と同程度でした。

※ 簡易局：
小型の放射線測定装置により空間放射線を常時測定していますが、風向・風速や降雨量などの気象状況は観測していません。



オフサイトセンター局：志賀町

■ 測定結果



2. 環境試料中の放射能

農畜産物や海産物、水道水などの試料を採取し、これらに含まれる放射性物質（セシウム137、ストロンチウム90、トリチウムなど）の濃度を測定しています。令和４年度の測定結果は、いずれも過去の測定値と同様に低い値でした。

■ 環境試料採取地点（石川県　令和４年度分）



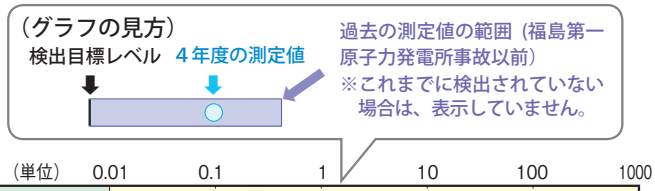
（参考）志賀原子力発電所の運転状況
（令和４年４月～令和５年３月）
調査期間中は、１号機、２号機とも運転停止中でした。

■ 分析装置の例

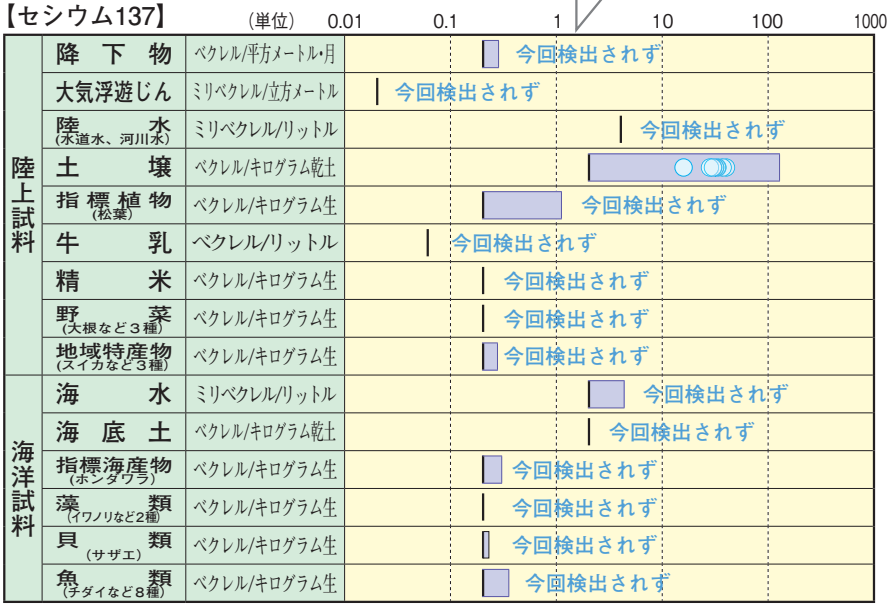


トリチウムを測定する液体シンチレーション計測装置

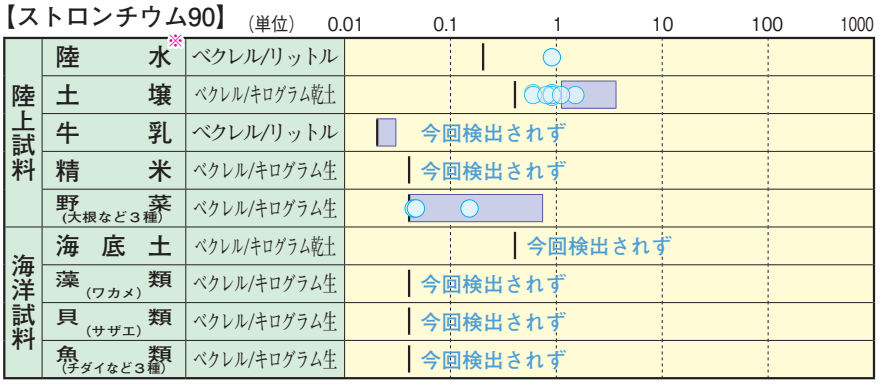
■ 測定結果



【セシウム137】

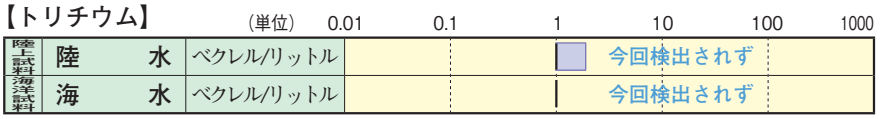


【ストロンチウム90】



※ 陸水のストロンチウム90については、令和元年度から測定を開始しています。

【トリチウム】

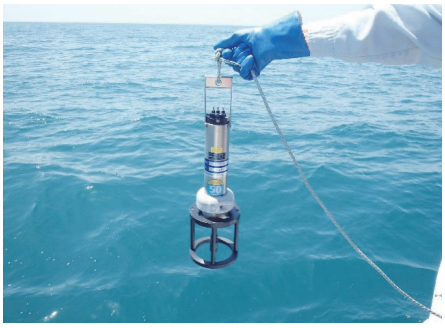


Ⅱ　温排水影響調査（令和４年４月～令和５年３月）

1. 水温調査

令和４年度は、１号機、２号機とも運転停止中であり、温排水は放水されていませんでした。

令和４年度の平均水温は、これまでの調査結果と比較すると、春季、夏季、秋季は過去の範囲にあり、冬季は高めの値でした。

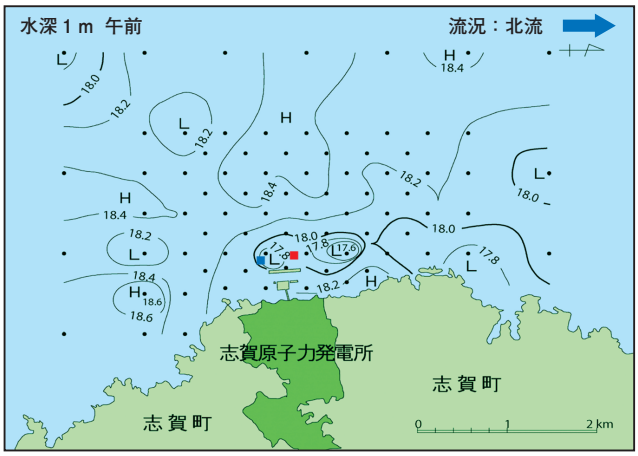


水温調査の状況（水温・塩分測定機）

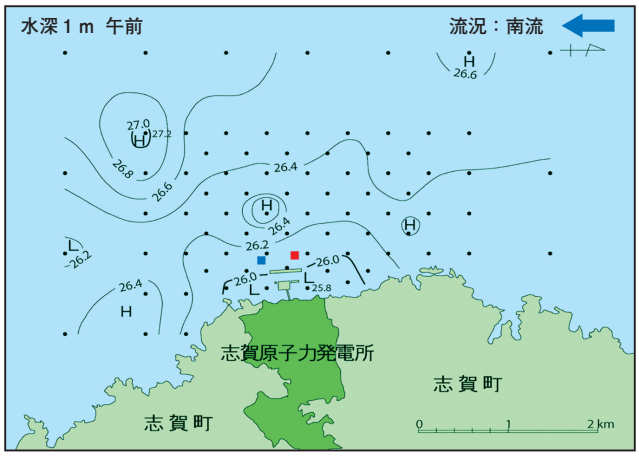
■ 調査結果

● 水深１ｍの水温分布　（単位：℃）

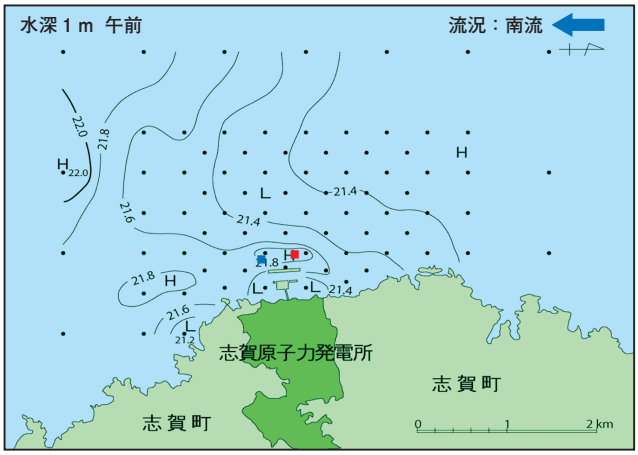
●春季（令和４年５月23日）



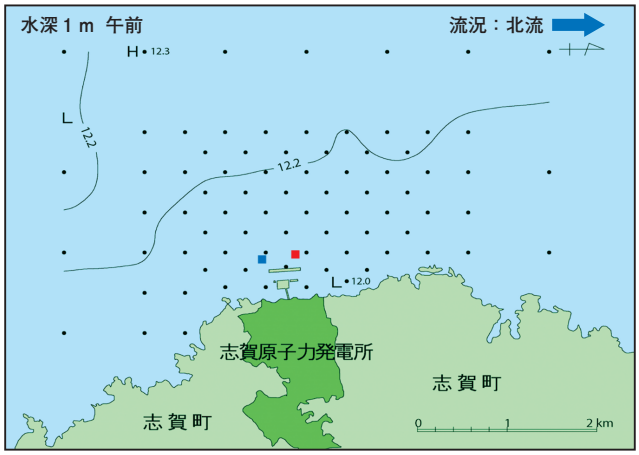
●夏季（令和４年７月28日）



●秋季（令和４年10月13日）

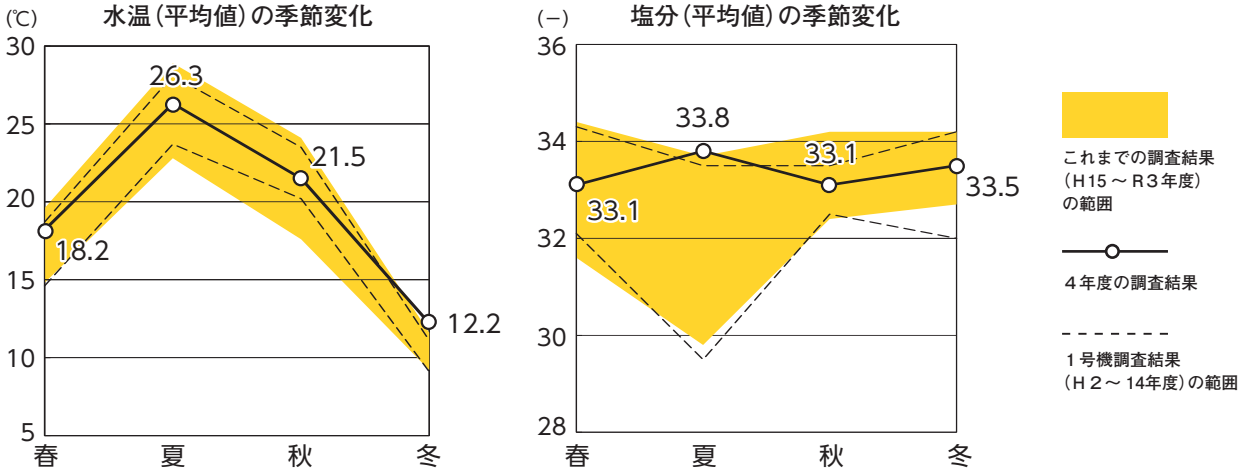


●冬季（令和５年３月23日）



※ ■は１号機の放水口位置、■は２号機の放水口位置、・は水温調査地点を表しています。

● 季節別の水深１ｍ（午前）の平均水温・塩分



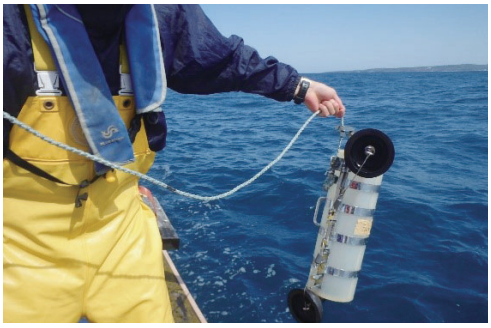
2. 水質･底質調査

海水を対象に水温や塩分のほか、水素イオン濃度や水の汚れの指標であるＣＯＤや窒素、リンなどを調査しています。

令和４年度の水質は、これまでの調査結果と比較すると、夏季のリン酸態リンが高く、冬季の全リンがやや低いほかは、ほぼ同程度でした。

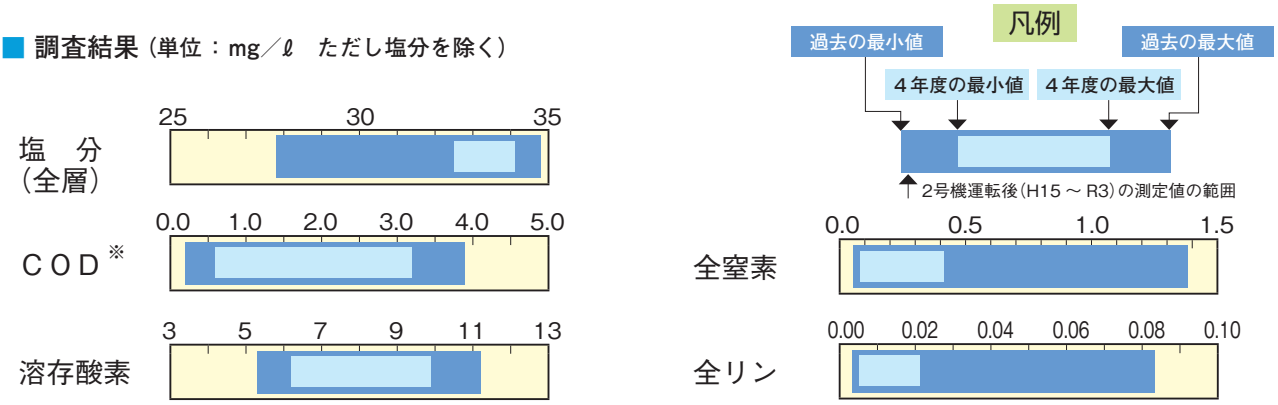
※ リン酸態リンとは、リンのうち、リン酸イオン(PO_4^{3-})として存在する物質のことで、「全リン」とは別に測定しています。

底質(海底の土壌)は、これまでの調査結果とほぼ同程度でした。



海水採取の状況

■ 調査結果（単位：mg／ℓ　ただし塩分を除く）



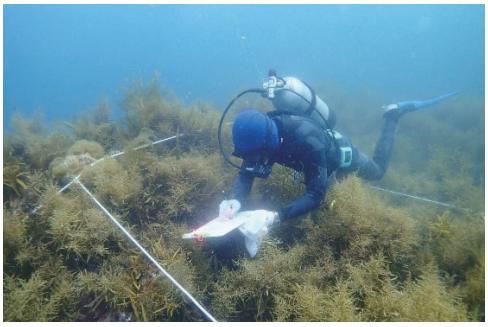
※ 表層(水深0.5m)、中層(水深５m)、下層(水深20mまたは海底上１m)における最小値と最大値

※ＣＯＤ：化学的酸素要求量(Chemical Oxygen Demand)

3. 海生生物調査

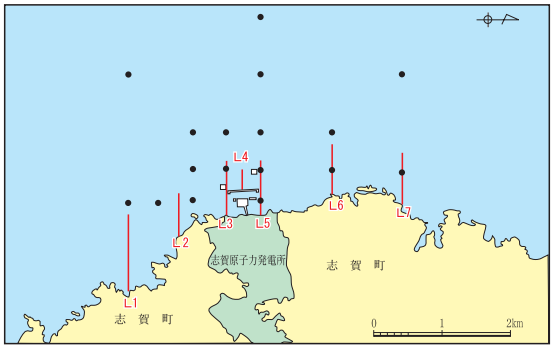
潮間帯生物、海藻草類、底生生物、卵・稚仔及びプランクトンを調査しています。

令和４年度の調査結果は、これまでの調査結果と比較すると秋季のサザエが一部の測線で多かったほかは、いずれの項目もほぼ同程度でした。



サザエ生息調査の状況

■ 調査地点(サザエ生息調査)



●：水質調査地点　　｜：サザエ生息調査測線

■ 調査結果(サザエ生息調査)

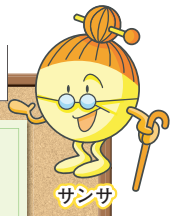
調査測線	水深(m)	調査面積(㎡)	調査結果(平均個体数/25㎡)			
			春季	夏季	秋季	冬季
Ｌ１	3 ～ 20	125	14.2	8.6	9.2	11.6
Ｌ２	3 ～ 20	125	7.6	19.8	19.6	21.6
Ｌ３	3 ～ 20	125	3.8	10.6	14.6	9.8
Ｌ４	15 ～ 20	50	1.0	0.0	0.0	0.0
Ｌ５	3 ～ 20	125	9.6	21.8	24.8	19.4
Ｌ６	3 ～ 20	125	7.8	24.0	46.8	22.4
Ｌ７	3 ～ 20	125	7.0	21.2	21.8	14.2

以上の内容は、石川県原子力安全対策室ホームページで見ることができます。
(https://atom.pref.ishikawa.lg.jp/)

あともす　1月号　No.264　令和6年1月1日発行

あともすとは、物質をこれ以上分けることができないという意味のギリシャ語。英語のアトム（原子）の語源

催し物ご案内



生け花展

3月3日（日）

協力団体　志賀町華道協会
場　　所　能登原子力センター



フラワーアレンジメント展

3月9日（土）～10日（日）・23日（土）～24日（日）

協力団体　志賀町フラワーアレンジメントサークル
場　　所　能登原子力センター

通年開催

- **来館スタンプラリー**
  1日1回スタンプを押します。
  3個集めたら賞品進呈。
- **館内クイズラリー**
  館内をまわって3つのクイズに挑戦。
  全問正解者には賞品進呈。
- **工作体験コーナー**
  工作を自由に作って下さい。
  持ち帰って遊んで下さい。

お待ちしています

来館された方はいつでも参加できます。

おたよりコーナー



- 低レベル放射性廃棄物の搬出について詳しく知ることができました。（七尾市）
- 表紙の「スポGOMI大会」に感動しました。（中能登町）
- 志賀町の文化財（一）は大変興味深く読ませていただきました。（志賀町）
- 1G ＝980ガルの意味が理解できて、よかったです。（羽咋市）

あともすクイズ



問　題

物質をこれ以上分けることができないという意味のギリシャ語　英語のアトム（原子）の語源

①②③④
□□□□

ヒント　それぞれの数字の赤枠に入る文字を順に並べると答えになります。

① 原燃サイクル施設があるのは　□□□□県
② 1月20日に中能登町で開催される行事　□□□□100人女子会 in NAKANOTO
③ 空間の放射線量が1時間当たりどのくらいかを連続して測定しているもの　□□□□□□ポスト
④ 発電所内で火災の発生を防止する策として　□□□検出器が設置されている

前号のこたえ　シ ン ド

とじ込みはがきまたは二次元コードを読み込んで、答えと必要事項を書いて、能登原子力センターまでお寄せください。応募はどちらか1回のみ有効です。正解の方には景品をお送りします。
（応募者多数の場合、抽選で40名の方にお送りします。締め切り **1月31日必着**）

こちらからも応募できます。

公益財団法人
能登原子力センター
〒925-0166 石川県羽咋郡志賀町安部屋亥の34の1
電話（0767）32-3511　ファックス（0767）32-3512
ホームページURL　https://www.noto-gen.or.jp

原子力センター HP

LINE

@NOTO_GEN



［見学のご案内］
- 開館時間／9時30分～16時30分
- 休 館 日／毎月曜日（祝日の場合は、その翌日）年末年始（12月29日～1月3日）
- 入館無料（団体・グループでの見学はあらかじめご連絡ください。）

広報誌「あともす」は石川県と志賀町・七尾市・羽咋市・中能登町の委託を受けて公益財団法人能登原子力センターが作成したものです。
（令和5年度　広報・調査等交付金事業）

「印刷用の紙にリサイクルできます」
この広報誌は高精細 340 線で印刷したものです。

PIN No.P13-0179